

2020年6月19日

小児がん拠点病院連絡協議会

第11回小児がん拠点病院連絡協議会 近畿ブロックの取り組み

近畿ブロック小児がん拠点病院連絡協議会

近畿ブロックの連携病院 (類型1:地域の小児がん診療を行う 17施設)

		京都大学 (7施設)	京都府立 医科大学 (3施設)	大阪市立総合 医療センター (10施設)	兵庫県立 こども病院 (3施設)	
福井	福井大学	○				1
滋賀	滋賀医科大学*	○	○			2
	大津赤十字病院	○				
京都	京都市立病院		○			2
	舞鶴医療センター		○			
大阪	北野病院*	○		○		6
	大阪赤十字病院*	○		○		
	近畿大学			○		
	大阪市立大学			○		
	大阪大学			○		
	大阪母子医療センター			○		
奈良	奈良県立医科大学			○		1
和歌山	日赤和歌山医療センター*	○		○		2
	和歌山県立医科大学			○		
兵庫	県立尼崎総合医療センター*	○			○	3
	兵庫医科大学*			○	○	
	神戸大学				○	

*:複数の拠点病院と連携

近畿ブロックの連携病院

(類型2: 特定がん種の診療を行う 3施設)

		京都大学 (1施設)	京都府立 医科大学 (なし)	大阪市立総合 医療センター (なし)	兵庫県立 こども病院 (2施設)	
福井	福井県立病院 (陽子線治療)	○				1
兵庫	兵庫県立がんセンター (軟部腫瘍など)				○	2
	神戸陽子線センター (陽子線治療)				○	

近畿ブロックの連携病院 (類型3:長期の診療体制の強化 10施設)

		京都大学 (4施設)	京都府立 医科大学 (2施設)	大阪市立総合 医療センター (1施設)	兵庫県立 こども病院 (5施設)	
福井	福井赤十字	○				1
京都	京都桂病院	○				1
大阪	松下記念病院		○			1
奈良	天理よろづ相談所病院	○				2
	近畿大学奈良病院			○		
兵庫	明石市民病院*		○		○	5
	加古川市立中央市民病院				○	
	西神戸医療センター*	○			○	
	姫路赤十字病院				○	
	北播磨総合医療センター				○	

*:複数の拠点病院と連携

近畿ブロック連絡協議会の構成

拠点病院

京都大学医学部附属病院
京都府立医科大学附属病院
大阪市立総合医療センター
兵庫県立こども病院

連携病院

福井	福井大学医学部附属病院	奈良	奈良県立医科大学附属病院
	福井赤十字病院		近畿大学医学部奈良病院
	福井県立病院		天理よろづ相談所病院
滋賀	滋賀医科大学附属病院	和歌山	和歌山県立医科大学附属病院
	大津赤十字病院		日本赤十字社和歌山医療センター
京都	国立病院機構舞鶴医療センター	兵庫	神戸大学医学部附属病院
	京都市立病院		兵庫医科大学病院
	京都桂病院		兵庫県立尼崎総合医療センター
大阪	大阪大学医学部附属病院		神戸陽子線センター
	大阪市立大学医学部附属病院		兵庫県立がんセンター
	近畿大学医学部附属病院		西神戸医療センター
	大阪母子医療センター		明石市立市民病院
	大阪赤十字病院		北播磨総合医療センター
	北野病院		加古川中央市民病院
	松下記念病院		姫路赤十字病院

近畿ブロック小児がん拠点病院の連携状況 (昨年度)

日時	概要
2019年 7月23日 (大阪市立総合医療センター)	第1回近畿小児がん医療提供体制協議会 小児がん連携病院の指定手順に関する連絡
2019年10月 5日 (大阪市立総合医療センター)	第2回近畿小児がん医療提供体制協議会 小児がん連携病院の指定結果 令和元年度小児がん地域計画について
2020年 2月22日 (兵庫医科大学)	第42回近畿小児血液・がん研究会 第3回近畿小児がん医療提供体制協議会 令和元年度小児がん地域計画の達成状況報告 令和2年度の予定と小児がん地域計画について

近畿ブロック小児がん拠点病院の連携状況 (今年度予定)

日時	概要
2020年 7月25日 (オンライン)	第1回近畿小児がん医療提供体制協議会 今年度の小児がん連携病院指定手順に関する連絡 今年度の小児がん地域計画の進捗状況の報告
2021年 2月20日 (大阪大学)	第43回近畿小児血液・がん研究会 第2回近畿小児がん医療提供体制協議会 令和2年度小児がん地域計画の達成状況報告 令和3年度の予定と小児がん地域計画について

近畿ブロック小児がん拠点病院の連携状況 —近畿ブロック小児がん拠点病院看護連絡会—

目標:ブロック内の小児がん看護の質の向上、連携強化

令和元 年度担当施設:大阪市立総合医療センター

(1) 定期会議参加:5施設(拠点病院4施設と協力病院1施設)

①令和元年5月11日(土)14:30~16:00 参加:5施設 16名

②令和元年10月5日(土)14:00~16:00 参加:5施設 13名

③令和2年2月22日(土)新型コロナウイルス感染予防のため会議は中止(メールでの情報交換に変更) 参加:5施設

(2) 小児がん看護講演会の5施設共催

近畿ブロック小児がん拠点病院看護連絡会主催 小児がん看護講演会

令和2年2月2日(日) 会場:大阪市立総合医療センター さくらホール

内容:医療的ケアが必要な小児がん患者の在宅移行支援

講師:スギ訪問看護ステーション新金岡 管理者 酒井 智子 先生

大阪市立総合医療センター MSW 大濱 江美子 先生

参加者:53名(近畿ブロックの診療病院・訪問看護ステーション・診療所)

近畿ブロック小児がん拠点病院の連携状況 —近畿小児血液・がん研究会看護部門—

目的:小児血液・がんの子どもとその家族の生活の質の向上と、臨床的研究や知見・情報の交換、討議を通じて看護実践および研究の発展と向上に寄与すること

(1)定例会

2か月に1回(5・7・9・11・1月)開催、近畿圏の16施設(拠点4施設含む)が参加

2グループに分かれ学会・研究会発表に向けた取り組み(口腔ケア・リハビリテーション)

口腔ケア:各施設アンケートから施設間の相違、看護ケアに焦点

看護リハビリ:小児がん患者のリハビリの現状、実態調査を計画

(2)講演会の主催

令和元年度企画・運営担当施設:チャイルド・ケモ・クリニック

第13回近畿小児血液・がん研究会看護部門講演会

令和元年7月7日(日) 14:00~17:00 会場:淀川キリスト教病院

テーマ:アピアランスケアによるAYA支援

講師:国立がん研究センター中央病院 アピアランス支援センター長 野澤 桂子 先生

参加者:52名(16施設)

近畿ブロック小児がん拠点病院の連携状況

— 相談支援部会 —

(1) 小児がん拠点病院相談支援部会：2019年11月29日

(2) 近畿ブロック小児がん拠点病院相談支援部会主催小児がん相談員研修：2019年12月6日

第1部：小児がん相談支援研修会

テーマ『小児がん・AYA世代のがんの陽子線治療について』

講演①『小児がんの子どもの成長のために～小児がん治療の変遷』 細井 創先生

講演②『放射線治療最前線～陽子線治療』 相部 則博先生

第2部：近畿ブロック情報交換会

テーマ『小児がん・AYA世代がん患者の相談支援について』

報告『近畿ブロック小児がん拠点病院のAYA世代の相談』

第3部：陽子線治療施設見学

今年度の近畿ブロック小児がん地域計画 (診療体制)

目標	2020年度に取り組むこと
<p>・がん治療 各拠点病院が所在する府県及び拠点病院のない近隣県に対する先導的役割を果たし、再発・難治例、診療を集約すべき特定のがん種(脳腫瘍や骨軟部腫瘍等)といった均てん化ができない症例の診療にかかわる。均てん化が可能ながん種については、拠点病院と連携病院で連携することで最適な診療を提供する。</p> <p>・晩期合併症対策 必要とするすべての小児がん経験者に対し、成人診療医療機関を含めた地域連携により、適切な長期フォローアップを行う。</p> <p>・生殖機能温存 すべての患者と家族に治療の妊孕性への影響についての情報提供を行うと同時に、妊孕性を確保するための体制を整備する。</p> <p>・啓蒙、啓発活動 毎年、患者、経験者、家族を対象とした情報提供や啓蒙のための活動が行われている。</p>	<p>本ブロック内の拠点病院が連携する地域を3地区に分け、京都・滋賀・福井は京都大学と京都府立医科大学が、大阪・奈良・和歌山については大阪市立総合医療センターが、兵庫県については兵庫県立こども病院が主として担当する。</p> <p>連携病院で発生した均てん化が難しい症例(再発・難治例あるいは診療を集約すべき特定のがん種)について、拠点病院が把握できる体制を整備する。また、AYA世代を含む脳腫瘍・骨軟部腫瘍については、成人診療機関との連携を進める。</p> <p>連携病院での長期フォローアップ体制、リハビリテーション診療体制の実態調査をし、各地区での体制について計画策定する。</p> <p>各地区で生殖機能温存治療ができる施設をリストアップする。</p> <p>小児がんに関する一般・患者家族向けの講演会を実施する。</p>

今年度の近畿ブロック小児がん地域計画 (人材育成)

目標	2020年度に取り組むこと
<p>活発な人材交流がなされている。 幅広い分野(小児がん看護、緩和ケア)に対する研修が開催されている。</p>	<p>医師・看護師・薬剤師・放射線技師・社会福祉士等の人材交流を行い、拠点病院で年間1名以上の研修受け入れを目指す。 ブロック内の連携病院や地域の医療機関等の多職種医療従事者も参加する小児がんの診療、相談支援、がん登録及び臨床試験等に関する研修会を行う。 各地区で全連携病院が参加する症例検討会・研究会を年間3回程度開催する。</p>

今年度の近畿ブロック小児がん地域計画 (相談支援)

目標	2020年度に取り組むこと
患者の求める情報を提示し、適切な医療や支援の提供につなげることが出来る。	相談支援について、それぞれの地区で連携病院が拠点病院に相談できる体制を作る 拠点病院が連携病院からのセカンド・オピニオンを積極的に受け入れる。

今年度の近畿ブロック小児がん地域計画 (臨床研究)

目標	2020年度に取り組むこと
オールジャパン体制の臨床研究を推進する協力体制が整備されている。	地域ブロックにおいて実施されている治験を主とした臨床研究について情報共有し、ブロック内で積極的な患者紹介を行う。

今年度の近畿ブロック小児がん地域計画 (その他重点的に取り組んでいること)

- ①がん患者の療養生活の質
- ②患者の発育・教育等に関して必要な環境整備

目標	2020年度に取り組むこと
<p>①在宅医療を含めた充実した終末期医療を受けられる。</p> <p>②療養中においても継続して教育を受けることができる。</p>	<p>各地区で在宅医療を依頼できる施設をリストアップする。</p> <p>終末期医療に関する好事例を拠点病院や連携病院間で情報共有する。</p> <p>ICT活用など様々な方法による療養患者への教育提供プロジェクトを実施する。</p> <p>連携病院における教育支援について実態調査を行い、各地区における体制について計画策定する。</p>